

平成31年度 事務事業評価シート (H30実績評価)

事務事業名		1104	筑西市魅力発信事業		重点 プロジェクト		1		
担当所属		051500	市長公室 広報広聴課						
予算科目	H31	1-020111	一般会計 - 総務費・総務管理費・広報広聴費						
	H30	1-020110	一般会計 - 総務費・総務管理費・広報広聴費						
施策	基本構想	04	4 自主・自立したまちづくりの強化						
	政策	12	12 シティプロモーションの充実						
	施策	38	38 戦略的なPR活動の推進と基盤の強化						
	基本施策	02	(2) あらゆる魅力と情報の戦略的発信						
事業類型	(ソフト系) 自主的事業		評価対象	■	経費区分	施策経費	支出区分	負担金	無
副施策	1	-	2	-	実計対象	■	補助金・交付金	無	無

事務事業の概要

事業期間	毎年	平成 24 年度 ~	年度対象	その他	記入者	谷島 和生	内線	4121
法令	無		例規	無				

関連計画等 第2次筑西市総合計画

事業の目的
この事業によって対象をどのようにしたいのか
ノベルティ（PRグッズ）の活用や市の魅力情報を発信することにより、筑西市の知名度を向上させ、魅力を全国的にPRすることで、交流人口の増加に寄与するとともに人口減少・定住促進対策の一助とする。

具体的な事務事業の内容、手法、手順

事業の内容	全体事業概要	PRグッズ（ポケットティッシュ、オリジナルシャープペン等）を各種イベントで配布することにより「筑西」の名前をPRする。これまでに撮影した魅力発信映像を、新宿駅前アルタビジョンやインターネット、ケーブルテレビ、各種イベントなど様々な方法で効果的に発信・放映する。地上波テレビ局とのタイアップにより、市の魅力を紹介する筑西ロケ番組を製作・放映する。また、ドローンや4Kビデオで撮影した映像を編集し、「YouTube」など動画サイトで拡散し、市のPRを図る。
	30年度事業実績	ノベルティ配布（ボールペン等8,528本、ティッシュ6,200個、クリアフォルダ965枚）。ケーブルテレビで、栃木、群馬、結城筑西地域に特産物やイベントのPRをした。いばらき国体にむけPR動画「剣動画」を製作し、筑西市HP内「ちくせいムービーチャンネル、SNS、YouTubeで発信。

事業費の内訳（千円）

		総事業費	平成29年度 実績		平成30年度 実績		平成31年度 予算	
事業費	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	1
		差引：一般財源	0	3,951	3,612	6,223		
事業費計(A)		0	3,951	3,612	6,224			
人件費	従事職員数(人)	[正規：臨時嘱託]	2.15	0.00	1.90	0.00		
	人件費(B)	[正規：臨時嘱託]	17,529	0	15,536	0		
フルコスト(C) = (A) + (B)			21,480	19,148				

指標の推移

活動指標 1	指標名	PRグッズ配布回数				単位	回
	目標値	40	目標年度		目指す方向	↑	
	考え方・式等	筑西市をより広くPRするため、各種イベント開催時にPRグッズを配布した回数。					
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率(%)	平成31年度見込	
	実績	45	31	56	140.0	60	
成果指標 2	指標名	ちくせいムービーチャンネルのアクセス数				単位	回
	目標値	15,000	目標年度	令和 03 年度	目指す方向	↑	
	考え方・式等	ちくせいムービーチャンネルのアクセス数によりPR効果を把握する。					
	年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	達成率(%)	平成31年度見込	
	実績	5,318	10,526	19,395	129.3	25,000	
目標に対する達成状況の評価	市職員でいばらき国体のPR動画「剣動画」を制作し、インターネットやケーブルテレビなどの各種媒体に発信することにより、全世界に市の魅力を発信できた。						

状況の変化等

社会情勢の変化	ご当地キャラクターや特産物を活用したPRが盛んに行われており、ふるさと大使による人を介しての地道なPRIに加え、メディアなどあらゆる手段を用いてインパクトのあるPRをしていく必要がある。		
市民等からの意見・要望	PRIに寄与する有効な活動の検討。 インパクトのある魅力発信が望まれる。		
市以外での類似事業	○ 無	● 有 → □ 国 □ 県 □ 民間	■ その他
	実施機関名	筑西市観光協会	事業名 観光客誘致事業

結果評価

評価の観点	
評価内容	評価結果
目的の妥当性	
1. 事務事業の目的は、総合計画の施策目標に合致しているか。	合致している
2. 市が主体的に行うべき役割の事業か。	行うべき事業である
3. 市民ニーズ等を反映しているか。	反映している
4. 特定の個人や団体に受益が偏っていないか。	偏っていない
5. 市民との役割分担は適切か。	適切である
事業の有効性	
1. 類似事業との再編や統合はできないか。	できない
2. 成果を向上させる余地はないか。	該当しない
3. 廃止・休止した場合の影響はあるか。	影響がある(中)
事業の効率性	
1. 成果を落とさずに事業費を削減できる余地はないか。	ない
2. 成果を落とさずに人件費を削減できる余地はないか。	ない
3. 受益者の費用負担や受益機会に適正化の余地はないか。	該当しない
事業の現状・担当コメント (評価に対する課題等)	いままでのPR動画に加え、平成30年度に制作した「剣動画」を幅広く発信し筑西市の知名度アップにつなげ、交流人口、移住者増加の一因としたい。

課長評価

課長意見	筑西市の知名度アップ・イメージアップ戦略をより多くの方法を使い効果的に進める必要があるが、予算も限られていることから、工夫が必要である。SNSを活用したPRは費用もあまりかからず、拡散力があるため効果を期待し、継続して発信していきたい。また、インバウンドも視野に入れ、英文の字幕を入れるなど、外国人に向けた魅力発信にも取り組んでいきたい。更に、今後は近隣の自治体や県とタイアップして一緒にPRをしたり、企業と協働で取り組んだりすることも必要と考える。 【進捗状況：概ね順調である】
来年度の事業の方向性	現行どおり
改善策	内容
	改善の期間